

を害するからである、故に産婦とても爾う民間や漢法醫の云ふ程嚴重に食物を禁忌せずとも食べ馴れたものは何を喰べても胃腸に害を及ばさぬ程度なれば差支へありません。

▲青い便 私(わたくし)の病院(びょういん)東京小兒科院(とうきょうせうにしかういん)へ小兒(せうに)の患者(くわん)を連れて来る母親(はは)が其(その)の兒(こ)の容体(ようたい)を話(はな)される時に何(なん)うも兒(こ)が青(あ)い大便(だいべん)で困(こま)りますが、之(こ)れは多分(たぶん)私(わたくし)が青(あ)いものを食(た)べたから夫(そ)れで斯(か)ういふ青(あ)い便(べん)をするのでせう」と云(い)つて辯疏(いひわか)するやうに申(まを)さるゝ事が往々(わうわう)あります、成程(なるほど)斯(か)ういふ事柄(ことづから)は昔(むかし)から云(い)ふ事で、又(また)此(また)説(せつ)が世(よ)上に信用(しんよう)されて居(を)りますすが實際(じつ)際(さい)爾(そ)ういふ譯(わけ)のものであらうか、青(あ)い食物(しょくぶつ)を食(た)べ、其(その)成分(けいぶん)が乳汁(ちゅうじ)に分泌(ぶんび)されて小兒(せうに)が青(あ)い便(べん)になるのである、其(その)解釋(かいしやく)をお話(はな)し仕(し)たいと思(おも)ひます、

(つづく)

春の野邊



豊洲

霞(かすみ)こめたる山(やま)々の蝶(ちょう)の羽風(はふかぜ)にもえ初(はじ)し
小川(こがわ)に芹(せり)の清(きよ)ければ
紫匂(むらさきのかほ)ふはなすみれ
いと興(きょう)ある眺(なが)め哉(や)
若菜(わがな)つみなん今日(けふ)の日(ひ)を
日(ひ)もうらゝかに風(かぜ)清(きよ)し。
散步(さんぷ)唱歌(たが)の節(ふし)高(たか)く
手(て)をとりかわし同胞(どうぱう)が
家(いへ)づとにとつみためし
香(か)りたつれて蝶(ちょう)舞(ま)へば
鳥(とり)も蔭(かげ)にいそぐなり
けふの遊(あそび)を語(かた)りなん。

